

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

<東京農業大学>

東京農業大学（以下、本学という。）は、建学の精神「人物を畑に還す」に基づき、本学での学びを通して「生きる力」を育み、「農の心」をもって社会の発展に寄与する人材を輩出するため、各学部 of 教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- （１）自然科学・社会科学の両分野にわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけている。
- （２）卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- （３）研究室における諸活動および内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、広い視野、異なる文化への理解や関心、他者への柔軟性、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、地域であるいは海外で、活動しうる能力を身につけている。
- （４）「生命」、「食料」、「環境」、「健康」、「エネルギー」、「地域創成」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

■農学部

農学部は、それぞれの立場から生物多様性の保全と活用、医・薬・理学との境界領域を含む農畜産業、生物の持つ様々な機能の活用に関連する産業の発展等に貢献できる能力を有した人材を輩出するため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- （１）農学に関する基礎的・基盤的な知識と技術を習得した上で、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけている。
- （２）各学科の講義科目、実験、実習、演習、さらには卒業論文を通して、学科において学ぶ広範囲な知識と判断力及び問題解決能力を身につけ、総合的な判断力とバランス感覚を有している。
- （３）農学に関わる環境領域、生命科学領域、農畜産物の生産領域および生物活用などの領域の専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。
- （４）各学科における学修や諸活動の経験に基づき、社会における諸問題への高い見識と展望を持ち、自ら考究して問題を解決する能力を有している。

<農学科>

農学科は、農学に関わる広範な知識と、思考力、判断力、問題解決能力を身につけ、国内はもとより世界の農業や、それを取り巻く広範囲な分野で羽ばたく人材の養成のため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 農業や関連産業の発展に必要な基礎科学、基礎技術に関する知識と理解力を有している。
- (2) 農業はもとより、食料、健康、環境問題などの分野における問題解決能力を有している。
- (3) 農業、食料、健康、環境問題などの分野における学修で得た知識を活かして、社会人として主体的、協働的な活動ができる能力を有している。
- (4) 農業や関連産業の新しい未来を築くことのできる能力を有している。

<動物科学科>

動物科学科は、所定の単位取得を通じて、動物関連産業に貢献する人材育成のため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 社会の一員としての自覚と協調性を持ち、生命の尊厳を重んじ、高い倫理感を持って、自律的・継続的に行動する能力を修得している。
- (2) 動物関連産業に関わる各種企業や団体の指導者、技術者、公務員、教員、畜産を支える後継者や新規就農者として国内外で活躍し得る専門知識や技術を修得している。
- (3) 動物に関する知識や技能を活用して、食料、環境、健康、エネルギーなど人類の抱える諸問題を論理的に解明し、解決策を見出す能力を有している。
- (4) 動物に関する知識や技能を社会に還元し、自らの人生を切り拓いて行くためのプレゼンテーション能力と物心ともに豊かな人生・社会を築いてゆくためのコミュニケーション能力を修得している。

<生物資源開発学科>

生物資源開発学科は、農業ならびに農学の基盤となる生物多様性や生物資源にかかわる広範な基礎知識と判断力、問題解決能力を身につけ、農業ならびに環境関連産業のみならず、教育普及関連など幅広い分野において、それぞれの立場から人と自然の共存を追求し、未来に安心して託せる環境の保全を考え、生物資源の利活用と持続可能な社会を創造できる人材を輩出するため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 農業ならびに農学の基盤となる生物多様性とその保全、生物資源の開発と利活用について必要な知識と応用力、コミュニケーション能力を有している。
- (2) 生物資源、生物多様性、環境、健康問題に関する知識と理解力を有している。
- (3) 農業、環境、教育関連産業の発展に貢献できる能力を有している。
- (4) 社会人としてそれぞれの立場から、生物資源、生物多様性、環境、健康問題などの解決に貢

献できる能力を有している。

<デザイン農学科>

デザイン農学科は、生物やその生産物の持つ多面的な機能性に注目し、その利用技術、新機能性製品の開発、食農システムの構築を通じ、豊かで持続的な社会・地域・生活をデザインし、実現させることのできる人材を輩出するため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 生物および生産物が持つ多様な機能に関心を持ち、イノベーション農学の観点から潜在的な新機能を開発し、持続可能な社会の構築に利用できる能力を有している。
- (2) サステナビリティ農学の視点に基づいて、持続可能な食農システムや農業の多面的機能を活用したシステムをデザインし、社会実装することで豊かで持続可能な社会・地域・生活を構築していく能力を有している。

■ 応用生物科学部

応用生物科学部は、未来に向けて拡大し続ける農学領域において、生物生産・生物資源利用から食料・健康・環境・エネルギーまでを理解する力と、その解析を行うための能力を高めることによって、人と環境が調和する私たちの生活のあり方や未来について、その改善策を提案し、実践できる人材を輩出するため、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に対し、学位を授与します。

- (1) 生物学と化学を中心とした自然科学の基礎的・基盤的知識の修得と同時に、各学科の目指す専門的・先進的な知識や技術を身につけている。
- (2) 卒業論文研究の遂行および論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、論理的思考力、問題解決力、文章力、企画提案力およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 研究室における諸活動および国内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、他者との協調性、自らの積極性と適切な表現力、コミュニケーション力、高い倫理性などを有し、国内外で活躍する能力を身につけている。
- (4) 「生命」、「食料」、「健康」、「環境」、「エネルギー」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍する能力を身につけている。

<農芸化学科>

農芸化学科では、化学と生物の体系的な知識を活用し、身近な生命現象から地球サイズの問題までを立体的、複眼的に取り扱い、調和ある問題解決を模索していきます。そして、持続可能な社会システムの維持を図りながら、真の豊かな生活のありかたを提起することができる人材を育て、社会に送り出すことを目指します。そのため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 化学と生物に関して基礎から応用までの幅広い専門科目を習得している。
- (2) 専門科目を横断的に理解することで諸問題を論理的に考察し、またその考えを他者に対して説明力をもって説明する能力を身につけている。
- (3) 卒業論文研究の自主的な計画・立案、遂行ができ、また研究室活動を通じて自己管理能力、協調性、倫理性を身につけている。
- (4) 常に新しいことを学習する意欲を持ち、想定外の課題にも挑戦することができる。
- (5) 「生命」「食」「健康」「環境」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を社会に還元し活躍していく能力を身につけている。

<醸造科学科>

醸造科学科は、微生物の発酵生理を応用した専門領域における確かな知識と技術、研究能力を修得し、微生物利用における問題解決能力を身につけ、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に対し、学位を授与します。

- (1) 微生物の生命現象を論理的に説明でき、発酵現象や醸造技術を微生物の生命現象の総体として捉え、問題の解決策を見出す能力を身につけている。
- (2) 酒類、食品、環境浄化、エネルギー開発など広く微生物の発酵生理を利用する領域において、必要な専門的・先進的な知識や技術を修得している。
- (3) 卒業研究の遂行および論文の作成を通して、課題探求能力、情報収集能力、科学的解析能力、論理的思考力、文章力およびプレゼンテーション能力、自主的・自立的に行動する能力を身につけている。
- (4) 研究室内外における諸活動などを通して、広い視野、他者への共感力およびそれに基づいた適切なコミュニケーション能力、実用的な語学力を有し、国内外で広く活動できる能力を身につけている。
- (5) 「生命」、「食料」、「環境」、「エネルギー」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍する能力を身につけている。

<食品安全健康学科>

食品安全健康学科は、食の安全と健康機能の専門領域における確かな知識と技術、研究能力を修得し、食の安全と健康機能上の問題解決力を身につけ、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に対し、学位を授与します。

- (1) 食の安全と健康機能の理解の深化に必要な論理的思考を展開する上での基礎科学の知識と、食品安全解析学、食品安全評価学、食品利用安全学、分子機能学、生理機能学、生体環境解析学の各領域における食の安全性と機能性に関連した専門知識や研究を遂行するための技術を修得している。

- (2) 卒業論文の作成を通して、実験的検証をもとに得られた科学的知見から、論理的に思考することで客観的に事象を捉え、第三者に対しても的確に説明する能力を修得している。さらに、社会で必要とされる忍耐強い問題解決力、企画・提案力、プレゼンテーション能力を身につけ、広範な分野において活躍できる能力を修得している。
- (3) 研究室における諸活動および内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、忍耐強い観察力により解決すべき問題点を明らかにし、周りの人々との協調性と自らの積極性、さらには幅広い専門知識から来る高い論理性を持って、その解決を図る能力を修得している。
- (4) 「生命」、「食料」、「健康」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し、食の安全基準がグローバル化した現状で活躍しうる能力を身につけている。

<栄養科学科>

栄養科学科は、農学と医学を基盤とする栄養学の知識や技術を修得し、栄養の指導者としての問題解決力や発信力を身につけ、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に対し、学位を授与します。

- (1) 食品に含まれる成分が生体に与える影響、食品が利用されるまでの理論と技術、ならびに健康の保持・増進と生活習慣病の予防・改善の要となる栄養学を追究する実践的な理論と技術を身につけている。
- (2) 食・栄養・健康に関する専門家としての知識や技術を有し、科学的根拠に基づいてこれらを応用し、食を通じて人々の疾病の予防・改善、健康の維持増進、生活の質の向上に貢献する能力を身につけている。
- (3) 卒業論文の作成を通して問題解決力、論理的考察力、コミュニケーション力、研究成果を適切に伝えることができる能力を身につけている。
- (4) 研究室内外における諸活動などを通して、自らの意思を適切に表現できる力を有し、他者へ発信し、幅広い地域で活動できる能力を身につけている。
- (5) 「生命」、「食料」、「健康」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を社会に還元しうる能力を身につけている。

■生命科学部

生命科学部は、分子生物学、化学、バイオインフォマティクスを主たる教育研究の対象とし、農学の基盤となる生命現象の基本原則を分子から微生物・動植物個体までダイナミックなスケールで理解し、研究を通じて論理的思考力を磨き、研究成果の社会実装を通じて持続的な世界の発展に寄与する人材を輩出するため、各学科の教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 生命科学に関する基礎的知識の修得と同時に、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や実験技術、そして研究成果を社会へ分かりやすく発信するためのコミュニケーション能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 研究室における実験を中心とする諸活動および学会発表のような体験的・実践的活動などに基づき、広い視野、異なる分野への理解や関心、他者への柔軟性、自らの考えを国際的に発信できる英語能力を有し、グローバルに活躍しうる能力を身につけている。
- (4) 先端生命科学に関わる汎用的な基礎力と専門的な応用力を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

<バイオサイエンス学科>

バイオサイエンス学科は、生命現象の本質を理解し、生命科学を利用して社会貢献できる人材を輩出するため、教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学・社会科学の両分野にわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、本学科の目的とする生命科学分野における基礎的・基盤的知識を修得し、それを基に専門的かつ最先端な知識や技術に関する能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、批判的・論理的思考力、問題解決力、情報処理能力、文章表現力、プレゼンテーション力、英語読解能力などの能力を身につけている。
- (3) 実験実習や研究室活動を通して、集団内でのコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、ディスカッション能力、協調性や対人関係の構築力、対外的に正確な情報を発信する能力などを身につけている。
- (4) 食料、健康、環境に関する諸問題を、生命科学を利用して農学の観点から自律的に解決できる能力を身につけている。

<分子生命化学科>

分子生命化学科は、伝統的な化学の視点を保持しながらも、時代の変化に囚われない普遍的な価値を持ち、確かな自然科学系の基礎知識・技術を身につけ、以下の要件を満たし、かつ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

- (1) 化学を中心とする自然科学を総合的に理解し、基礎的知識および技術を修得している。
- (2) 有機化学、無機化学、物理化学など広く化学を利用する産業において、必要な専門的・先進的知識および技術を修得している。

- (3) 卒業研究の遂行および卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、論理的思考力、問題解決力、数的処理能力、文章力およびプレゼンテーション能力を身につけ、自主的・自立的に行動することができる。
- (4) 研究室内外における活動を通じて、広い視野を持ち、他者とのコミュニケーションを積極的に行う能力を身につけている。
- (5) 身につけた専門的知識および技術を活かし、学修の成果を社会に還元しつつ、人類の発展へ寄与しうる能力を身につけている。

<分子微生物学科>

分子微生物学科は、専門に特化した深い知識や技能だけでなく、より幅広い知識や能力を身につけ、さらにはそれらを結び付けて発信できる人材を輩出するため、教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学を中心に、社会科学にまでわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、本学科の目標とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション能力などを身につけている。
- (2) 本学科の教育・研究対象となる分野を基盤とした知識、技術、応用力などを社会活動に結びつけることのできる幅広い力を身につけている。
- (3) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、計画力、技術力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション能力などの能力を身につけている。
- (4) 研究室における諸活動および学内外での体験的・実践的諸活動に基づき、広い視野、他者への十分な理解、自らの意思を適切に表現できる表現力と語学力を有し、社会で能動的に活動しうる能力を身につけている。

■ 地域環境科学部

地域環境科学部は、生物に対する深い理解と造詣をもって、ミクロな地域環境問題の解決はもとより、マクロな広域環境問題さらにはグローバルな地球環境問題の解決に貢献できる人材を輩出するため、所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) グローバルな視野を持ちながらローカルな地域環境に対する知識をもとに、地域づくりにかかわる諸問題を総合的に捉え理解しうる能力を有している。
- (2) 環境共生型・循環型の地域づくりに関する諸問題に興味・関心を持ち、その問題を解決する意欲と能力を修得している。
- (3) 地域環境科学にかかわる多様な事象を総合的に捉え、地域環境と生物資源の保全・利用・管

理のための知識や技術・表現力を修得している。

<森林総合科学科>

森林総合科学科では、人間と森林の共生に貢献しうる人材の養成を目的として、カリキュラム・ポリシーに掲げる各講義科目・実習・卒業論文等の指導を通じ、環境保全、資源生産、資源利用、社会・経済の各領域にわたり設置した授業科目を履修し、所定の単位の修得と卒業論文評価基準に基づく審査に合格し、以下の資質・能力を身につけた学生に対し学位を授与します。

- (1) 森林にかかわる多様な事象を総合的に捉え、社会人としての倫理観を有し、社会の問題を発見する能力を身につけている。
- (2) 自然環境の保全と循環型社会の創造にかかわる諸問題を総合的にとらえる知識と技術を身につけている。
- (3) 森林・林業・林産業に関する諸問題を解決する具体的な技術と能力を身につけている。
- (4) 論文の執筆やコミュニケーション等の能力を身につけている。

<生産環境工学科>

生産環境工学科は、カリキュラム・ポリシーに掲げた項目に関する数物系の基礎的な科目および工学系の応用的な科目や実験実習演習科目を通して得られる能力、さらに現場作業への対応能力をも身につけ、かつ、所定の単位数を修得した以下の学生に対し、学位を授与します。

- (1) 自然科学に関する基礎知識と、農業生産や環境保全に関わる工学的専門知識や技術を身につけている。
- (2) 物事を論理的・客観的、さらに工学的に考える能力を修得し、学問や技術が社会や自然に及ぼす影響や効果および技術者が負うべき社会的責任について考え、何をなすべきかを判断できる見識を身につけている。
- (3) 「食料」、「環境」、「エネルギー」、「資源」、「農業」および「先端技術」などの問題に関心を持ち、解決しようとする意欲と姿勢を身につけている。
- (4) レポートや論文作成、口頭発表・討論等を通じて、自己表現能力・コミュニケーション能力を身につけている。

<造園科学科>

造園科学科は、ランドスケープの専門家すなわちみどり環境の創造と保全を担うスペシャリストとして、人間と自然の共生した空間や環境の実現のため、次のような能力が身につけている学生に対し、学位を授与します。

- (1) 地域レベルから地球レベル、ならびに地域社会から国際社会に至る幅広い視点から造園学を捉

え、その沿革、社会的使命、将来の目標や課題を理解し、その発展に貢献できる能力を身につけている。

- (2) 社会に対する造園家としての使命感と責任を把握し、貢献できる能力を身につけている。
- (3) 幅広い造園学の対象領域とそれらを司る原理や、造園空間の特徴、構成要素、自然のシステム、社会や経済のシステム、情報などを理解し、造園技術を社会で活かすための基礎能力を身につけている。
- (4) 造園家として必要な言語や図面等による表現能力、コミュニケーション能力を身につけている。
- (5) 造園空間の創成に向けて問題や課題を調査・分析し、それらの解決手段である総合化技術と、その具現化手法であるデザイン技術を身につけている。
- (6) 造園空間の創成に必要な植物について、その種類、生理生態、美観的特性を理解し、植栽から育成管理に至るまでの技術と手法を身につけている。
- (7) 造園空間を創成するための工学的知識、計測技術、建設・施工にかかわる具体的手法を身につけている。
- (8) 多様な主体との協働・連携により、プロジェクトを計画的・組織的に推進する実務的・実践的な能力を身につけている。

<地域創成科学科>

地域創成科学科は、水資源や食料生産、環境保全等の役割を担ってきた農山村地域の保全、再生、持続的発展など、地域の創成に貢献できる人材を輩出するため、所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学、人文社会科学に関する幅広い教養的知識と地域創成科学に関する専門知識・技術を修得している。
- (2) 地域創成科学に関わる諸問題に興味・関心を持ち、その問題を多面的に捉え、解決に導くための論理的思考能力を修得している。
- (3) 持続可能な地域社会の創成に向けて、高い倫理観に基づき、知識や技術の応用できる能力を有するとともに、他社と協力しながら仕事を進めていくためのコミュニケーション能力を有している。
- (4) 本学科が定める履修モデルにしたがって講義・実習科目を修めるとともに卒業論文に取り組むことにより所定の単位を修得し、卒業判定考試に合格している。

■ 国際食料情報学部

国際食料情報学部は、世界および日本における食と農に関する問題の解決と地域社会や世界の発展等に貢献する人材を輩出するため、本学部の教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学・社会科学の両分野にわたる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、各学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 研究室における諸活動および国内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、広い視野、異なる文化への理解や関心、他者への柔軟性、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、地域あるいは海外で、現場と連携・協働し活動しうる能力を身につけている。
- (4) 「農業」、「食料」、「環境」分野における「国際協力」、「技術」、「ビジネス」、「マーケティング」、「文化」、「教育」、「政策」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

<国際農業開発学科>

国際農業開発学科は、農業・農村開発を通じて国際的に活躍する人材を育成するため、以下の要件を満たし、さまざまな分野で国際的に活躍する能力を身につけている学生に対し、学位を授与します。

- (1) 自然科学と社会科学の両領域にわたる熱帯生物生産分野、熱帯農業環境分野、農業農村開発分野の幅広い基礎的・専門的な知識を修得し、また、実践的な技能や技術を身につけ、国際的な農業・農村開発協力のために積極的に活動することができる。
- (2) 他国の文化・社会・習慣などの多様性に十分な知識と理解を有し、柔軟な思考力と判断力、さらにコミュニケーション力を身につけ、国内外のどの地域でも自己の能力を発揮して社会に貢献することができる。
- (3) 「農業」、「生命」、「食料」、「環境」などに関わる専門性を活かし、国内外の多種多様な社会において、パイオニア的存在として活躍することができる。

<食料環境経済学科>

食料環境経済学科は、社会科学の手法を用いて、「農業」、「食料」および「環境」を取り巻く課題を究明し、もって食を通じてより良い社会を実現する能力をもつ人材を輩出するため、本学科の教育目標に基づいて設置した授業科目を履修して所定の単位数を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 農学および関連する幅広い学問にかかわる基礎的・基盤的知識の修得と同時に、本学科の目的とする専門的・先進的な知識や技能、コミュニケーション力、課題の提案・問題解決力などの能力を身につけている。
- (2) 演習や研究室等における現場実習、調査研究実習や地域再生・活性化プロジェクトに基づき、国内外の食料・農業・環境の現場の実践を深く理解し、現場の人々との対話能力や仲間との協働、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、ビジネス、公的分野、教

育研究分野で活動しうる能力を身につけている。

- (3) 卒業論文の作成を通して、社会的課題の発見、実証的な情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (4) 「食料」、「農業」、「環境」などに関わる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

<アグリビジネス学科>

アグリビジネス学科は、国際的な感覚を持った農業・食品系企業の経営幹部や経営の中核を担う人材を輩出するため、所定の単位を修得し、以下の要件を満たす能力を備えた学生に対し、学位を授与します。

- (1) 本学科に所定の期間在学し、教養教育による基礎的知識と本学科の教育理念「国際的に活躍できるビジネスパーソンの育成」のもとに編成されたアグリビジネス学の体系的学問の内容と方法を理解し、それらの知識やスキルを用いて、激変する社会事象に立ち向かい行動する能力を身につけている。
- (2) 本学科における教育研究活動を通じて獲得した能力を、企業・組織への貢献を通じて国際・地域社会に還元し、その発展に寄与する能力を身につけている。
- (3) 卒業論文の作成などを通して、製品・サービスの企画・開発、経営戦略、財務管理、マーケティング、情報処理、組織管理などの専門的能力および知識の活用力、論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力などの基本的なビジネス能力を身につけている。
- (4) 「農業」、「食料」、「経営」などに関わる専門知識を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

<国際食農科学科>

自然科学・社会科学の両分野にわたる食農科学の基礎的・基盤的知識の修得と同時に、本学科の目的とする専門的・先進的な知識や技術、コミュニケーション力などの能力を身につけた学生に対し、学位を授与します。

- (1) 研究室における諸活動および内外での体験的・実践的諸活動などに基づき、広い視野、異なる文化への理解や関心、他者への柔軟性、自らの意思を適切に表現できる表現力あるいは語学力を有し、地域であるいは海外で、活動しうる能力を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、課題探求力、情報収集力、知識の活用力、批判的・論理的思考力、問題解決力、数的処理、文章表現およびプレゼンテーション力などの能力を身につけている。
- (3) 「農業生産」、「食品科学」、「食農文化」、「食農政策」、「食農教育」などにかかわる専門性を活かし、学修の成果を実社会に還元し活躍しうる能力を身につけている。

■生物産業学部

生物産業学部は、生物産業と自然環境が調和した持続的循環型社会を構築するために、文理融合の学びを通して生物資源の生産、加工、経営と人の営みに関する深い知識と高度な専門性を持った人材を養成することを目的としています。このために、定められた授業科目の単位を修得し、かつ次に挙げる学力と能力を有した学生に学士の学位を授与します。

- (1) 生物産業に係る自然・生命・資源・食料・健康・経営・地域創生に関する専門的な知識と理論を体系的に理解している。
- (2) 生物産業に関する課題を見出し、収集した情報と数量的なデータに基づく解決策を考える論理的思考力を有するとともに、自らの考えを適切に表現できるプレゼンテーション能力や語学力を有している。
- (3) 学内外の諸活動での体験的・実践的活動を通じて多様な価値観に触れてそれを理解し、他者と協働して行動することができる。
- (4) 学部で習得した学修の成果を国内外の実社会で応用し、実践できる能力と、生涯にわたり学び続けるための自己管理能力を身につけている。

<北方圏農学科>

北方圏農学科は、北海道の広大な生産現場と豊かな自然に囲まれた環境において、食料生産と自然環境との調和をテーマに、体験による学びを通じて持続的循環型社会の構築に貢献する実践力のある人材の養成を目的としています。このために、実験と実習を重視した体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 食料生産と自然環境との調和を実践するための基礎となる自然科学と人文・社会科学の領域を含む文理融合の幅広い視点を有している。
- (2) 生物や自然環境の保全と管理に関する基礎的な知識を有し、またそれらに関わる現象を解析する技術を身につけている。
- (3) 生物生産や生態系保全に関する課題を設定し、収集した情報やデータに基づいて論理的に課題解決への道筋を思考することができる。
- (4) 他者に自身の考えを伝えるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけている。

<海洋水産学科>

海洋水産学科は、生物資源・自然資源が豊かなオホーツク海を主たる学びのフィールドとして、幅広く一般教養と専門知識を身につけ、水産業にかかわる様々な問題の解決に俯瞰的視野を持って貢献できる人材を輩出します。そのため、実学を重視した体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提

出することを学位授与の要件とするともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然環境と調和した持続可能な漁業生産技術とともに、安心安全な水産物を安定的に提供していくための水産増養殖技術を理解するために、必要な水産学・海洋学に関する専門知識および技術を身につけている。
- (2) 卒業論文の作成を通して、基礎的な知識や技術をもとに研究テーマを探索し、必要な情報を入手し、得られた成果をまとめる文章表現力とプレゼンテーション力を持ち、さらにその過程で生じるさまざまな問題の解決策を見出す能力を身につけている。
- (3) 研究室および地域での体験や実践的な活動を通して、広い視野と他者への理解、コミュニケーション力、自らの考えを表現し得る能力を持ち、自律的・継続的に行動できる能力を身につけている。
- (4) 多様な水産科学に関する専門性を活かし、学修の成果を広く実社会で活かすことのできる能力を有している。

<食香粧化学科>

食香粧化学科は、生物産業と自然環境の調和の取れた持続的循環型社会への貢献において、食品や香料、化粧品素材へ活用するため、多様で豊富な生物資源の性質や機能性、製造原理など基礎から応用まで総合的に学び、各産業界で即戦力として対応できる人材を輩出する。このために、実学を重視した体系的な授業科目を履修・修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 食品や香料、化粧品の素材となる生物資源の化学的特性や機能性およびそれらの加工・利用に関する専門知識や技術を身につけている。
- (2) 食品や香料、化粧品業界において、自らが取り組むべき課題に問題意識を持って積極的に取り組み、第三者に論理的に説明し、解決策を見出す能力を身につけている。
- (3) 食品や香料、化粧品に関する基礎研究あるいは開発・加工の分野において、専門家としての知識を活用し、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動する能力を身につけている。
- (4) 食品や香料、化粧品の素材の特性および製造加工技術について、分かりやすく説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけている。

<自然資源経営学科>

自然資源経営学科は、北海道オホーツク地域という自然資源に恵まれたフィールドを活かし、生物産業と自然環境が調和した持続可能な循環型社会を構築することを教育研究上の目的として、広く社会に貢献できる人材を輩出します。この目的の達成に向けて自然資源を活かした産業を支える経営学を学び、社会の問題解決に取り組むコミュニケーション力を身に付けた者を養成することを目標とし、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然資源を活かした農林水産業、食品加工業、観光業、環境ビジネスなど、生物産業を支える経営学の専門知識および自然環境と調和した地域社会の活性化に関する専門知識を有している。
- (2) 演習・実習科目による実践的学習や体験的学習を通して、社会を見る広い視野、他者の意見を尊重しつつ、自らの意思を適切に表現できる力を有している。
- (3) 生物産業と自然環境に関する課題を設定し、情報収集力や論理的思考力、問題解決力、文章表現力およびコミュニケーション力を有している。
- (4) 修得した専門知識や実践経験を活かし、学修の成果を広く社会に還元し活躍しうる力を有している。